

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立加美東小学校 学校協議会

1 総括についての評価

学校として各種行事の内容を見直したり、工夫を凝らした内容で実施したりしていることについては、適切な対応であると評価する。来年度は体育館建て替え工事のため、運動場の使用が制限される。子どもたちの活動できる場を計画していかなければいけない。

様々な家庭状況、背景を抱えた子どもたちが多く在籍する本校において、教職員は保護者とのつながりを大切にしながら子どもたちの健全育成に努めている。今後も継続的に関係機関とも連携しながら適切な対応や支援に努めてほしい。

全国学力学習状況調査及び大阪市学力経年調査の結果について、子どもたちの学力は安定的に上昇しており、丁寧な指導の表れであると評価する。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

いじめに関しては、アンケート等により把握できた事案について、速やかに対応してきた結果、いじめ認定された内容が3か月後にはすべて解消されている。今後も事前の指導や早期発見に努めるとともに、ていねいな事案解決を心掛け、いじめを許さない学校づくりを推進していくことを望む。不登校問題については、家庭（保護者）の協力が難しい児童に対しても、学校として登校できる状況や環境をつくる努力をしている。今後も関係機関との連携を図りながら、子どものために粘り強い対応を継続されたい。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全国学力学習状況調査及び大阪市学力経年調査の結果を受け、今後も引き続いて基礎基本の指導充実による低学力対策と、更に意欲的に学びに向かう児童を増やしていく学校全体の取組推進を図ってほしい。学力の向上や読書活動の推進については、指導法の研究や意欲を高める企画の実施等、様々な取り組みにより少しずつ努力の成果が表れている。適切な対策を講じながら運動や各種活動ができる環境を整え、健康及び体力増進に努めていることについては評価できる。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

学校として子どもたちの学びを支えるためには教育環境の充実が求められる。今後も継続して環境の充実に努めてもらいたい。だが、世界では『脱デジタル』に転換しつつあるので、動向をみて ICT 活用は効果的な活用を期待する。また、学校現場においても働き方改革が叫ばれているが、教職員がゆとりをもって職務を遂行できるよう業務内容の改善を期待する。

3 今後の学校園の運営についての意見

学習者用端末の計画的な活用により、ICT の推進が図られている。一方で、様々な経験を通じてあらゆることを吸収する力のある成長段階の子どもたちにとっては、基礎・基本である読んだり書いたりすることの重要性や、友だちと学び合うことも大切にしてほしい。

学校・家庭・地域の連携をさらに強化し、加美東の子どもたちのために一体となって取り組んでいかなければならない。学校としても全教職員がチームとなり、子どもたち一人一人が生き活きと輝く安心・安全な学校づくりを目指して努力してほしい。